

第4学年 特別活動（学級活動）指導案

日時 平成16年11月5日（金）5校時
児童 第4学年 男14名 女8名 計22名
授業者 室根村立折壁小学校
教諭 浦嶋勝宏

1. 題材名 2分の1成人式をしよう
2. 題材について

（1）児童の実態

子供たちは今年度から始まった委員会活動や学級の集会活動（スポーツ集会、リレー集会等）係活動など自分たちの役割を果たすために、また、自分たちで計画したことをやり遂げるために、意欲的にがんばろうとしている。しかし、意欲が持続しなかったりやり方が分からなかったりすると、自分の分担を途中で投げ出してしまうことも多い。

国語の学習「無人島でくらすとしたら」では話し合いの活動の学習を通して、自分たちの活動について本気になって意見を出し合い学習を進めることを学んだ。ほかの人のよりよい意見を聞き、自分の意見と比べながら聞くことの大切さも幾分身につけたように思われる。また、話し方の方法も身につけ工夫して話そうとしている。しかし、話し合いの目的やルールを完全に身につけているわけではなく、まとめ方が分からなかったり、ねらいに合わない意見でも認めてしまったりしてしまうこともある。

（2）題材設定の理由

本題材は、4年生（10才）になった喜びや感謝の気持ちを、子供たち一人一人が確かめるとともにふれあいレター（敬老の日のお手紙）でお便りを出したおじいさん・おばあさんに伝えることをねらいとしている。日ごろお世話になっている家族やお年寄り、地域の皆さんの代表として室根村の特別養護老人ホーム「孝養ハイツ」でくらすしている経験の豊富なお年寄りの方々に感謝の気持ちをあらわして10才をともに祝おうと考える。

そのために、まず、「おじいさんおばあさんによるこんでもらう会を成功させたい」という観点から「2分の1成人式」を企画し運営・練習をさせていきたい。また、個人の勝手や嗜好ではなく、おじいさんおばあさんに喜んでもらうために発表の内容を考え、学級での協力が大切であることを考えさせたい。そうすることによって、お年寄り（発表を見てもらう方）の立場に立った望ましい集団の活動ができると考える。また、話し合い活動を通して、議論となる事項を絞り、自分たちで練習することを確認して意欲的に活動に参加したいという意識を高めたい。

児童には、お年寄りの方への感謝の気持ちを伝えていく活動の大切さを感じさせ、活動を通して、「おじいさんおばあさんのために2分の1成人式を成功させたい」という共通のねらいをもとに「十分に自分の意見を述べ、決定したことには従い、最後までやり通す。」という自分勝手ではなく集団の一員としての活動をやりぬくことをねらいとしている。

（3）指導にあたって

本校では、総合単元的な道徳の学習として2学期は「みんなのためにできること」をテーマに道徳の学習を入り口に各教科の学習、さつまいも栽培、ふれあいレター、祖父母学級（竹紙鉄砲つくり）総合的な学習の時間「みんなにやさしい村づくり」の学習に取り組んできた。

学級活動では、その一連の子供たちの学習の成果や思いを発揮できる場、孝養ハイツでの発表をおじいさんおばあさんへの感謝の気持ちや尊敬の心をもって取り組ませたい。

活動を通しておじいさん・おばあさんのために会を成功させたいというめあてと自分たちの活動の振り返りを確認できる教室掲示をし、子供たちが活動全体の流れを把握できるようにする。また、友達の頑張りをカードに記入し発表したり、掲示で紹介したりすることによって友達のよさ、自分のよさを再認識していく活動をしながら学級としてまとまった活動を展開していきたい。

3. 本題材のねらいと評価規準

(1) ねらい

孝養ハイツのお年寄りの方々に喜んでもらえる発表会ができるようにするために、自分なりの思いや考えをもって話し合ったり、活動したりすることができる。

自分の役割分担を責任をもってやり遂げることができる。

みんなで活動することによってお互いのよさに気づき、友達のよさを、認め合うことができる。

(2) 評価規準

関心・意欲・態度 2分の1成人式の開催に関心をもち、学級の向上のために友達と協力して意欲的に取り組もうとしている。

思考・判断 お年寄りの方々が楽しめる2分の1成人式にするための出し物について、具体的な内容を想定して考え判断している。

表現・技能 自分の考えを相手に分かりやすいように発表したり、友達の意見をよく聞き協力や分担をしたりしながら活動を進めることができる。

知識・理解 発言のルールや進め方が分かり、お年寄りの方々に喜んでもらえる2分の1成人式にするためのめあてや取り組み方を理解している。

4. 事前の活動と計画

期 日	時 間	参加児童	主な活動内容	教師の支援
10/25	昼休み	学級執行部 (7名)	<ul style="list-style-type: none"> 議題の決定 めあての設定 	<ul style="list-style-type: none"> お年寄りの皆さんが楽しめる内容の発表会になることがめあてであることを確認しスピーチや出し物を決定していくことを伝える。
	帰りの会	全員	<ul style="list-style-type: none"> 2分の1成人式の企画を知る 	<ul style="list-style-type: none"> めあてがあって出し物が決定していくことを知らせる。
10/27	帰りの会	全員	<ul style="list-style-type: none"> 出し物の意見を執行委員会に出す 	<ul style="list-style-type: none"> 全員が参加できてお年寄りの皆さんが楽しめる内容から執行委員会が決定していくことを伝える。

10/29	昼休み	学級執行部	<ul style="list-style-type: none"> 出し物の検討と提案内容の決定 	<ul style="list-style-type: none"> お年寄りのみなさんが楽しめるという観点から話し合いをさせるようにする。
11/1	チャレンジタイム (3校時前の学級裁量の時間15分)	全員	<ul style="list-style-type: none"> 学級会プリントへの記入 	<ul style="list-style-type: none"> 学級執行部が検討した結果を受けて、どの出し物がよりおじいさんおばあさんに喜んでもらえるか話し合いをすることを伝える。 なかなか書けずにいる子には個別に指導する。 議題をめあてにそって話し合えるように助言する。
11/5	学級会	全員	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 孝養ハイツでの2分の1成人式を成功させる出し物を考えよう。 </div>	
11/8 11/9 ~ 11	昼休み 昼休み ・総合	学級執行部 全員	<ul style="list-style-type: none"> 練習計画 練習 	<ul style="list-style-type: none"> これまでの取り組みを振り返り、2分の1成人式実施に向けて意欲がもてるようにする。
11/12	総合	全員	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 2分の1成人式を孝養ハイツでしよう。 </div>	
	帰りの会	全員	<ul style="list-style-type: none"> ふりかえり 	<ul style="list-style-type: none"> これまでの活動をふりかえらせ、次の活動の意欲となるような助言をする。

5. 本時の活動

(1) ねらい

- 孝養ハイツのお年寄りの皆さんに喜んでもらえる出し物について考え、自分なりの意見をもつことができる。
- 賛成、反対、つけたし等自分の立場をはっきりさせた話し合いができる。

(2) 評価規準

- 思考・判断 お年寄りの皆さんに喜んでもらえる出し物について考え、他の意見を聞きながら自分なりに判断し意見をもっている。
- 表現・技能 賛成、反対、つけたし等自分の立場をはっきりさせた話し合いができる。

(3) 展開

段階	活動の流れ	児童の活動	指導上の留意点・評価の観点
<p>確かめ合う</p> <p>5分</p>	<p>1 はじめのことば</p> <p>2 学級執行部の係の紹介</p> <p>3 議題の確認</p> <p>4 提案理由の発表</p> <p>5 決まっていることの確認</p> <p>6 めあての確認</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>孝養ハイツでの2分の1成人式を成功させる出し物を考えよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・議長の合図で学級会を始める。 ・係の子が紹介する。自分のめあてを発表する。 ・議長の進行により、係の子が確認をする。 ・学級執行部がめあてを確認する 	<ul style="list-style-type: none"> ・隊形はコの字型で行い、話し手の顔を見ながら、話し合いに積極的に参加させる。 ・学級会プリントに自分の意見を書いておけたか確認しておく。 (学級会プリント) ・事前のプリントに書いたことをもとに意見の交流や話し合いがうまく進むよう児童の意欲を高めておく。
<p>高め合う</p> <p>35分</p>	<p>7 話し合い</p> <p>(1) 話し合いの柱の確認と進め方・時間の目安の確認</p> <p>(2) 意見・質疑</p> <p>(3) 決議</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・孝養ハイツでの出し物について意見を交流し決定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・議長の子供とは打ち合わせをしっかりとし、話し合いの進め方を確認しておく。 ・賛成、反対、つけたしの意見について十分に考えてから意見をまとめさせる。 ・黒板書記には話された内容を短くまとめ、話し合いのあとが分かるように記録させる。 ・児童の発言が不十分である時は、教師からの働きかけによりその思いを引き出したり、補足したりする。 ・話し合いが一部の児童に偏った場合指名やグループでの話し合いの方法を取らせる。 ・話し合いの中で目的意識がずれてきた場合や、話し合いが混乱してきた場合は、めあてを振り返らせながら話し合いが深められるようにする。お年寄りの皆さんに喜んでもらえるというめあてにそって自分なりの意見をもつことができたか。 (挙手・話し合い・プリント) 賛成、反対、つけたしの理由をつけ

	8 決定事項の確認	・ノート記録係が発表する。	ながら、話し合いができたか。 (挙手・話し合い)
認め合う 5分	9 反省 10 先生から 11 終わりのことば	・反省を書く。 ・反省を発表する。 ・議長の合図であいさつをする。	・反省、発表を通してお互いのよさを認め合えるようにする。 ・学級執行部(司会、議長、書記)には役割をきちんと果たしたことを賞賛する。全体には孝養ハイツのお年寄りの方々が楽しめる内容を考えて話し合いを進めることができたことを賞賛する。 ・話し合いの振り返りができたか確認する。(プリント、発表)

(4) 板書計画

<p>お年よりのみなさんによるこんでもらえる出し物の決定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ せいっぱいえんぎしているところを見てもらいたい。 ・ より楽しくなるクイズ。 ・ 劇だと元氣付けられる。 ・ エイサーの掛け声で楽しんでもらえる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 座っていてもできる。 ・ 笑ってもらえる。 ・ 楽しい。 ・ 考えてもらえる。 ・ エイサー ・ 賛成・反対・つけたしの意見 ・ 劇「若返りの水」 ・ クイズ ・ ゲーム 	<p>学級会 二分の一人式を孝養ハイツでしよう</p> <p>孝養ハイツでの二分の一人式を成功させる出し物を考えよう。</p>	<p>出し物のこころほ</p>
---	---	---	-----------------

みんなの計画ポスト 計画ていあんカード

月 日 4年 名前

わたしが学級会で話し合いたいことは、

です。

話し合いたいわけは、

からです。

切り取り線

()さんへ

計画()の

ていあんありがとうございます。

あなたの出してくれた計画は次のようになりました。

- 1 (月 日)の学級会で話し合われます。
- 2 朝の会、帰りの会で話し合うことになりました。
- 3 ()係に考えてもらうことになりました。
- 4 ()で話し合ってもらうことになりました。
- 5 先生にお願いしました。
- 6 ()になりました。

月 日 学年執行部より

話し合いの進め方の台本

- 1、はじめのことば ()
これから、学級会をはじめます。
- 2、係のしようかいをします。司会の ()
よろしくおねがいます。
提案者・黒板書記・ノート書記のじゅんで
(係は自分のめあてを発表する。)

3、議題の確認をします。() さん(おねがいます。
()です。

4、ていあんの理由の発表をします。() さん(おねがいます。
()です。

5、決まっていることのかくにんを () さん(おねがいます。
()です。

6、めあてのかくにんをします。() さん(おねがいます。
()です。

7、それでは、今日の話し合いに入ります。話し合いのことば
()です。

このめあてを中心に話し合いをしていきます。

意見を発表してください。
()です。

意見が出ついたら しつもん・さんせい・はんたいの意見を聞く 決める
なるべく、全員が発表するようにする。
話し合いを進めることば
()についてはさんせいの意見が多いので、決定していいですか。
()についてはもう少し意見を発表してください。
()については、さんせい、はんたいの意見が同じくらいなので、
どちらが「めあて」になっているか考えて発表してください。

8、決まったことのかくにんを () さん(おねがいます。

9、自分のひょうかのA・B・C・D・Eを () さん(おねがいます。感想も書いてください。

10、先生の話を聞きました。先生おねがいます。
先生、ありがとうございました。

11、おわりのことばを () さん(おねがいます。
これで学級会をおわります。
みんなで決めたことを、みんなで実行して成功させましょう。

学級執行部の自分のめあて

学級会カード

月 日() 時間目 名まえ

議題			
提案理由			
執行委員会		司会 (さん) (さん)	
		提案者 (さん) (さん)	
		黒板書記 (さん) (さん)	
		ノート書記 (さん)	
話し合いのめあて			
決まっていること			
予定	話し合いの進行	話し合いの進め方と気をつけること	準備
5分	1、はじめのことば		
35分	2、学級執行部の係の紹介		
	3、議題の確にん		
	4、ていあん理由の発表		
	5、決まっていることの確にん		
	6、めあての確にん		
5分	7、話し合い (話し合いの柱の確にん)		
	8、決まったことの確にん		
5分	9、めあての反省		
	10、先生の話		
	11、おわりのことば		

上は学級執行部が記入します。下は一人一人が自分の意見を書きましょう。

話し合うこと	学級会前自分の考え	話し合いをしての自分の考え
1 (分)		
2 (分)		
3 (分)		
	決まったこと	
自分の評価	自分の考えや意見をじゅんびできましたか。 A B C D E	感想
	めあてにそって、自分の意見を発表できましたか。 A B C D E	
	友達の意見をしっかり聞くことができましたか。 A B C D E	

集会の活動 がんばりカード

集会名

4年 名前

自分の役わり

(よくできた できた もう少し)

集会活動に向けて取り組んでほしいこと

印
(しるし)

1、楽しい集会活動にするために、進んで話合いに^{さんか}参加することができた。

2、どんなじゅんぴをしたらいいか考えた。

3、自分の分たんを考え、進んで取り組んだ。

4、なかよく^{きょうりよく}協力して活動できた。

5、活動しながら、いろいろと^{くふう}工夫できた。

6、^{さいご}最後までいっしょうけんめい集会活動をできた。

7、友達のよいところを見つけることができた。



8、なかよく^{きょうりよく}協力してかたづけることができた。

感想

さんへ

さんへ

太田勝也

佐木凌

みんなのために できること

道徳の学習で

みんなに
ありがとう
を伝えよう！



みんなのために
できること

国語「十さいを祖おのり」の学習で

国語「十さいを祖おのり」の学習で

国語「十さいを祖おのり」の学習で

国語「十さいを祖おのり」の学習で



敬愛の目くをありがとう

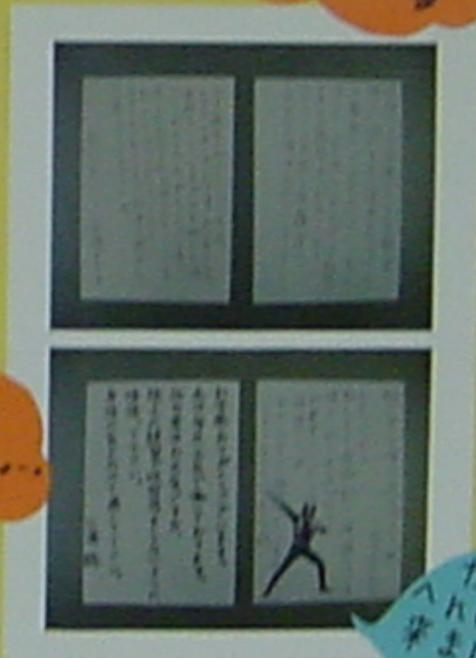


学習の成果
「大成す！」

喜んでくれる
かな？



祖父母学級（竹紙鉄砲作り）



おじいちゃん
おばあちゃん
ありがとう



おじいちゃん
おばあちゃん
ありがとう

たくさん
ありがとう
をありがとう



道徳の学習で



2
3
4
5
6



④ 3月
9月